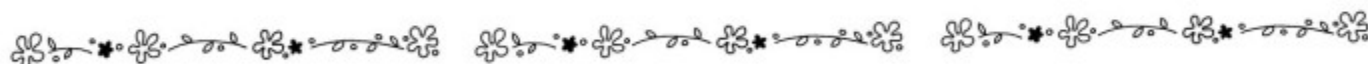


大垣市の予算特徴は・1位土木費、2位公債費



大垣市の予算のうち一般財源等がどのように使われているか、市民一人当たりの金額を出してみると、一番多いのが土木費の42,346円、次に多いのが借金返済（公債費）の42,079円でした。これを類似団体と比較してみると、公債費が8,999円そして土木費も5,787円多くなっています。一方、民生費は△1,259円、衛生費は△1,223円と類似団体より少なく、市民の福祉や保健には税金があまり使われていないことが分かります。

市議会議員 笹田トヨ子

平成15年普通会計決算・大垣市と類似団体の比較（市民1人当り・円）

	大垣市	類似団体	差額
総務費	35,597	30,537	4,060
民生費	40,872	42,131	▲1,259
衛生費	20,720	21,943	▲1,223
土木費	42,346	36,559	5,787
教育費	32,383	28,724	3,659
交際費	42,079	33,080	8,999

*一般財源等：財源の用途が特定されずどのような経費にも使用できる財源

*類似団体：大垣市と同規模の自治体

大垣の財政力は豊か、福祉予算の引き上げを！

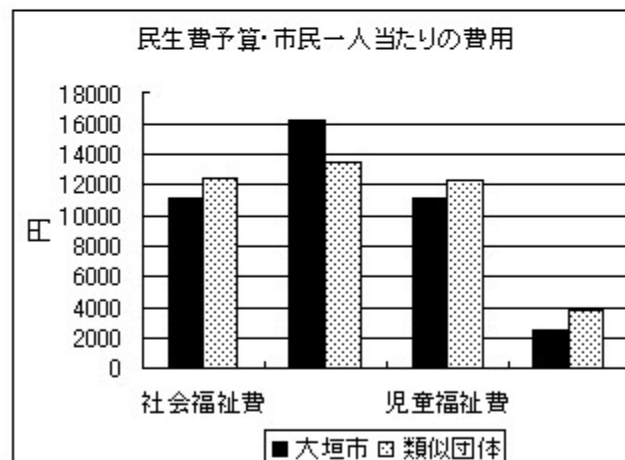
大垣市の公債費は類似団体の平均的な予算より1.3億5千万円も多く、土木費では8億7千万円多いことが分かりました。

一般質問で「なぜ民生費が少ないのか」尋ねると「民生費が少ないのは生活保護率が低いため」ということでした。しかし、民生費の内訳をみると、生活保護費だけでなく社会福祉費も児童福祉費も類似団体より少ないことが分かります。（グラフ参照）

大垣市は借金返済の負担が大きいのに、土木費など投資的経費は類似団体より8億円も多く予算配分できる財政力をもっています。福祉予算もせめて類似団体の平均的なレベルまで引き上げるべきではないでしょうか。

福祉予算の増額で自立支援法1割負担の軽減措置を！

障害者自立支援法により、障害者の生活は利用料一律1割負担が大きいのしかかり、全国の自治体で独自の支援策が出されています。岐阜県下でも可児市・高山市・飛騨市・瑞浪市・中津川市・関市・多治見市などの自治体が独自軽減策を打ち出しました。しかし、大垣市は私の一般質問で取り上げた独自軽減策の要求に対して「考えていない」という冷たい答えでした。せめて類似団体並みに予算を引き上げるだけで、これらの要求は十分実現可能です。



岐阜県庁「裏金問題」の徹底糾明を求める

日時 9月22日（金）18：30～

緊急 県民集会

会場 岐阜市金公園